

昭和20年の終戦で、拘束の時代から自由へと解き放たれ、やがて物質面でのバブル崩壊により、さらに不安の心が増幅されています。

拘束は安定、自由は不安定、不安なのです。心はやじろべえのようで、振れだすとなかなか止まりません。両端ほど振れは大きくなりますが、中心は動いてないのです。より動いてない中央(真中)に心を寄せるか、または「とらわれない、こだわらない」と心を他に向けることです。自信(自らの可能性を信じる)を失くしてうつ病に、又逆の我執(自己愛)からの人格障害者も増えており、がまん力不足による事件が多く見られます。

観察力・理解力・判断力・忍辱・精進・禪定・智恵・縁・中道・安心・あるがままに……